

稲沢市観光協会ニュース

INAZAWA TOURISM ASSOCIATION NEWS



いなっピーバス(善光寺)にて



発行所／稲沢市観光協会 発行人／服部 義逸 稲沢市朝府町15番12号(稲沢市産業会館内)

[TEL] 0587-22-1414 [FAX] 0587-22-1424 [HP] <http://www.inazawa-kankou.jp> [E-mail] inakan@inazawa-kankou.jp

NO.23

2014.1

各種イベントに参加し観光PRと"いなっピーグッズ"や特産品の販売を行い、いずれの会場においても大変好評でした。



モニターバスツアー

～国府宮神社と尾張七福神めぐり～

観光協会では、「国府宮神社と七福神めぐり」と題して関係箇所を巡るモニターバスツアーを計画し、参加者を募集したところ、79名の方が参加されました。

コースの国府宮神社では正式参拝後、神主から通常では聞かれない神社の歴史や「いわくら」の説明を受けることもできました。見学先となった寺院では、住職から法話を聞くことができました。また、祐専寺においては、観光ボランティアによる銀杏の試食やイチョウの木の散策・説明もあり、いろいろ趣向を凝らしたツアーとなりました。

●期 日／平成25年9月26日(木)

●場 所／国府宮神社―地泉院―刈萱堂・刈萱寺―善光寺・根福寺・正塔院―永張寺―祐専寺

参加者のアンケート結果では、満足と答えた方が74%、次回も参加したいと答えた方が64%となっており、参加者には大変好評でした。



市制55周年 稲沢サンドフェスタ

今年度もイベント開催を二日間とし、砂像の制作期間(9月28日～10月11日)、展示期間(10月12日～10月20日)に制作の様子や完成品の見学ができるようになりました。

来場者は、イベント開催の両日とも天候に恵まれ、45,000人が来場されました。

会場となりました国営木曽三川公園ワイルドネイチャープラザ、県営木曽川祖父江緑地、市営祖父江ワイルドネイチャー緑地の3施設の総合愛称として「サリオパーク祖父江」と決定されて、2年目のサンドフェスタでありました。砂像のテーマを「新しい始まり出発のものがたり」として10作品が制作され、チーム名「たくぼー&ななっぺ&ことちゃん」の題名「旅立ちと始まりへの導き」が金賞の栄冠に輝きました。その他のイベントとしては、砂をイメージした大会(サンドアート体験コーナー、ビーチフラッグス)等のほか宝さがし大会、スタンプラリー、飲食店コーナーなどたくさんの

●期 日／平成25年10月12日(土)・13日(日)

●場 所／サリオパーク祖父江

催し物が開催され、参加者は夢中になっていました。

また、今年度の「ご当地キャラクター大集合!」では、「いなっピー」を始め近隣の「あいさんさん」、「いちみん」、「きよ丸」など、県外からも「タボくん」、「いが☆グリオ」、「えべっちゃん」など23体が出演し、チビッ子達との触れ合いや、記念写真を撮っていました。

観光協会では、観光コーナーを設置し、稲沢市観光ガイドマップや観光チラシ等で観光PR、「いなっピーグッズ」の販売を行いました。



金賞「旅立ちと始まりへの導き」(チーム名/たくぼー&ななっぺ&ことちゃん) ▲



市制55周年 平成25年度 稲沢まつり

今年は、19日(土)・20日(日)の二日間開催されましたが、天候に恵まれなかったため来場者は、両日で47,700の人出でありました。

国府宮神社参道の両側では、地元特産品販売などの出店や側道には露店が立ち並びました。また、参道屋外ステージでは、天下無敵の爆裂ライブや稲沢ご当地アイドルユニット「LOVE♥INA30」などのライブが行われ、稲沢中学校では、ミニSLやふわふわランドにはちびっ子の行列ができ大人気でした。また、園児のドリル演奏会が行われましたが、園児の姿を必死に追う両親や祖父母の姿が印象的でした。

●期 日／平成25年10月19日(土)・20日(日)

●場 所／国府宮神社参道、稲沢中学校、稲沢市民会館ほか

市民会館では、稲沢音楽祭、秋の芸術祭、芸能発表会など多彩な催し物が行われました。市民病院では、健康チェックコーナー、病院内の見学などが行われ、大変にぎわっていました。

観光協会では、観光ボランティアの協力を得て稲沢市の観光PR、「いなっピーグッズ」の販売を行いました。



ご当地キャラ博 in 彦根 2013

滋賀県彦根市で6回目となった今回は、全国からご当地キャラが220体余り集結し、開催されました。

初日は雨のち曇り、二日目は雨といった悪天候で、来場者は傘を片手に、キャラクター達は、雨に負けず、濡れながら雨よけ用の特製ビニール合羽などをかぶりパフォーマンスを行い頑張っておりしました。

会場は傘の花が満開で歩くのも大変でした。

二日間の来場者は悪天候にもかかわらず、73,000人となった。さすが、ご当地キャラの聖地のイベントです。

稲沢市観光協会は、市職員とともに稲沢市をPRするため今年も参加しました。

●期 日／平成25年10月19日(土)・20日(日)

●場 所／彦根中心市街地商店街一帯

PRステージでは、それぞれのご当地キャラクターが地元の自慢を行い、「いなっピー」は稲沢市を大いにアピールしてまいりました。また、「いなっピー」は悪天候にも負けず、多くの来場者との写真撮影に応じ人気を博しておりました。

また、会場では、稲沢市の観光パンフレットの配布や、「いなっピーグッズ」の販売も行い、稲沢市のPRを行ってききました。



第16回そぶえイチョウ黄葉まつり

～日本一の黄金色 眺めてよし、翡翠色の銀杏 食べてよし～

第16回そぶえイチョウ黄葉まつりが、11月23日(土)～12月1日(日)の9日間にわたり開催されました。初日の23日(土)は、大村愛知県知事や、大野稲沢市長等の多くの来賓をお迎えし、オープニングセレモニーやイベント・アトラクションなど盛りだくさんの催し物が開催されました。

今年も、テレビ局、ラジオ局、新聞等の報道関係からイチョウの黄葉や銀杏料理などについて、各種番組等に多く取りあげていただいた影響もあり、県内外から交通手段、イチョウ黄葉の見頃についての問い合わせなども頻繁にありました。期間中の、祝日、土曜・日曜日には、イベントも開催され、祐専寺周辺に出店された地元飲食組合のお店や物販店では、観光客でごった返し、農家の人たちも銀杏の販売に追われていました。

12月1日には、人力車に乗って「イチョウ散策ツアー」や、「信長の会」の演舞なども開催され大好評でした。

観光協会では、市内外からイチョウ黄葉を見に来ていただいた観光客の方々に稲沢市の観光ガイドマップや、善光寺東海別院、七福神めぐり、荻須記念美術館などのチラシによる観光案内、「いなッピーグッズ」の販売をととして稲沢市のPRも行いました。

今年のイチョウの黄葉は、温暖な気温のため、色づきが遅れて

●期 日／平成25年11月23日(土・祝)～12月1日(日)

●場 所／祖父江町体育館会場、山崎会場(祐専寺及び周辺)

おりましたが、まつりが始まった頃から気温が急に冷え込み、まつり開催中が見ごろとなり、山崎会場周辺では黄葉を楽しむ多くの人が訪れていました。



市制55周年 いなッピーバスに乗って観光地を巡ろう!

～秋です。いなッピーバスに乗って、自然の風情と歴史・文化を楽しもう～

観光協会では、市内外の方々に稲沢市の観光スポットを知っていただくため、市内の観光地を巡るための巡回バスを1日8便(1時間おき)運行しました。

運行に当たっては、昨年実施のいなッピーバスを参考に、開館30周年記念特別展「日本画家が描いた西洋風景展」開催中の荻須記念美術館やそぶえイチョウ黄葉まつりの開催期間に併せ、参加者を募集しました。

当日は、風もなく絶好の行楽日和で、参加者も全体で100名の参加がありました。

参加者は、観光ボランティアによる案内や観光協会が作成した手作りマップを手に、随所を巡りながら、ちょっぴりプレゼントに協賛していただいたお店などへ立寄るなど、1日楽しく観光地の散策をしていただきました。

また、スタンプラリーにも多数の方が応募され、厳正な抽選の結果、「はッピーいなッピー賞」に阿部さん始め10名、「らっきーいなッピー賞」に萩原さん始め24名が当選されましたので、賞品を発送させていただきました。

●期 日／平成25年11月24日(日)

●コース／市役所－荻須記念美術館－
国府宮駅－稲葉宿跡A－稲葉宿跡B－
森上駅－そぶえイチョウ黄葉まつり会場－
ふれあいの郷－刈萱堂－善光寺－
祖父江支所－地泉院－下水道科学館－
矢合観音前－市役所



いなッピーと一緒に稲沢市のPR活動

"いなッピー"と一緒に市内外に出かけ、観光パンフレットによる観光PRや"いなッピーグッズ"の販売を行いました。

第46回全日本シニアボウリング選手権大会

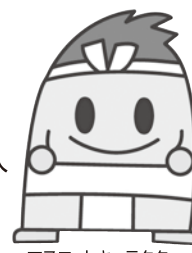
●期日／平成25年6月28日(金) ●場所／稲沢グラウンドボウル ●参加者数／選手、役員等 約750人

全日本小学生ボウリング選手権大会

●期日／平成25年8月3日(土) ●場所／稲沢グラウンドボウル ●参加者数／選手、役員監督等 約250人

第8回愛知県市町村対抗駅伝競走大会「愛知ふるさと市」

●期日／平成25年12月7日(土) ●場所／愛・地球博記念公園 ●出展ブース／33ブース



マスコットキャラクター
「いなッピー」

01 天下の奇祭『国府宮はだか祭』

●平成26年2月12日(水) ●場所／尾張大國霊神社(国府宮神社) TEL0587-23-2121
●交通／名鉄名古屋本線『国府宮駅』から徒歩5分・JR東海道本線『稲沢駅』から徒歩15分

「はだか祭」は、正式名称を「儼追神事(なおいしんじ)」と言います。今から約1240年前、奈良時代の神護景雲元年(767年)称徳天皇が、「全国の国分寺に悪疫退散を祈れ」と勅命を発した時、尾張国司が尾張総社である尾張大國霊神社に於いても祈願したので、儼追神事となって現在まで伝えられています。

旧暦正月13日、はだか祭が行われる国府宮神社一帯は祭りの興奮に包まれます。

祭りは、42歳と25歳の厄年の男を中心に、尾張一円からサラシのフンドシ、白足袋をつけただけの数千人の裸男が、裸になれない老若男女が厄除けの祈願を込めた布(なおいざれ)を結びつけた「なおい笹」を、裸男が身代わりとして担ぎ込み厄除けを祈願するものです。

また、国府宮神社参道では、神男(しんおとこ)に触れて厄を落とそうと数千人のはだか男がもみ合います。

1



なおいしんじ しめはしらたてしき
儼追神事(はだか祭) 標柱建式

旧暦正月2日午前9時に行われる標柱建式。「儼追神事」と大書された標柱が第二鳥居と楼門前に建てられ、祭りの開幕を告げます。

2



なおいにん(しんおとこ) せんていしき
儼負人(神男) 選定式

午前10時、志願者を儼追殿に集めてその年の神男を選定。神男は三日三晩、儼追殿にこもり祭りの本番にそなえます。

3



おおかがみもちほうのう
大鏡餅奉納

お供えとして奉納される大鏡餅は、なんと50俵(約4トン)という巨大な代物。祭りの前日、神男に迎えられ拝殿へ納められます。

4



なおいしんじ
儼追神事(はだか祭)

旧暦正月13日午後3時過ぎ、神男に触れて厄を落とそうとする裸男たちが神男を待ち構えて揉み合う。そこへ神男がとびこみ、祭りはクライマックスを迎えます。

5



よなおいしんじ
夜儼追神事

深夜の午前3時、厄災をつきこんだ土餅を背負った神男が境外へと追い出されます。そして、神男は途中で土餅をすてて帰宅し、神職はこの餅を地中に埋め、厄災を封じ込めます。

6



おおかがみもちもちきりはじめ
大鏡餅切始

旧暦正月14日午前8時からは大鏡餅を切って参拝者に授与。この餅を食べると無病息災で過ごせるとの言い伝えがあり、多くの参拝者が集まります。

◆はだか祭関係行事日程表(平成26年)

月日	時刻	祭典・行事	旧暦月日
2月1日(土)	午前9時	① なおいしんじしめはしらたてしき 儼追神事標柱建式	正月2日
2月1日(土)	午前10時	② なおいにん(しんおとこ)せんていしき 儼負人(神男)選定式	正月2日
2月5日(水)	午前9時	なおいにん(しんおとこ)せんていしき 大鏡餅米洗い	正月6日
2月6日(木)	午前5時	なおいにん(しんおとこ)せんていしき 大鏡餅掲	正月7日
2月6日(木)	午前9時	くわがたさい 鉄形祭	正月7日
2月9日(日)	午後5時	なおいにん(しんおとこ)せんていしき 儼負人(神男)参籠	正月10日
2月10日(月)	午前9時	なおいにん(しんおとこ)せんていしき 大鏡餅飾付	正月11日
2月10日(月)	午前9時	つちもちつきしんじならびにひふしたため 土餅搗神事並秘符認	正月11日

月日	時刻	祭典・行事	旧暦月日
2月11日(火)	午後1時	③ おおかがみもちほうのう 大鏡餅奉納	正月12日
2月11日(火)	午後7時	ちやうやしんじ 庁舎神事	正月12日
2月12日(水)	午後3時	④ なおいしんじ 儼追神事(はだか祭)	正月13日
2月13日(木)	午前3時	⑤ よなおいしんじ 夜儼追神事	正月14日
2月13日(木)	午前8時	⑥ おおかがみもちもちきりはじめ 大鏡餅切始	正月14日
2月16日(日)	午後7時	まといしんじ 的射神事	正月17日
2月23日(日)	午前9時30分	ちやがい なおい茶会	

稲沢市キャンペーン・レディーを募集

市の観光事業やイベントなどを、より一層華やかに盛りあげるため、歴史と文化のまちにふさわしい、理知的で活動的な方を募集します。

募集人員：3名

- 応募資格：① 満18歳から満35歳までの女性
② 市、観光協会などの事業に1年間参加できる方
③ 親権者、雇用主の承諾を得た方
④ 類似した職務の任期中でない方

応募期間：平成26年1月6日(月)～1月30日(木)

応募方法：申込用紙に必要事項を記入し、上半身の写真を添えて、稲沢市観光協会へ

申込用紙：稲沢市(本庁、支所、市民センター)及び観光協会にあります

面接審査：2月14日(金)

主な業務：観光協会及び市等が開催するイベント、各種行事のPR活動

任期：平成26年4月1日～平成27年3月31日

その他：① 日当 9,200円 ② 交通費、食費は支給しません

③ 被服、その他装飾品は貸与します

④ 勤務中の災害は加入保険の範囲で補償します

問合せ先 稲沢市観光協会 電話 0587-22-1414

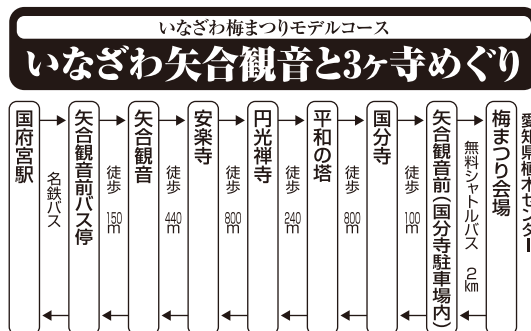
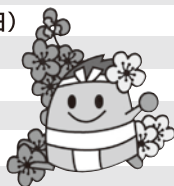
02 市制55周年 第8回いなざわ梅まつり “みんなでいこまいかあ〜”稲沢へ!!

●平成26年3月8日(土)・9日(日) ●AM9:30~PM4:00
information ●場所/愛知県植木センター

稲沢市は、全国的に植木、苗木の日本4大生産地の一つとして知られており、植木、苗木の研究・研修機関として愛知県植木センターが開設されています。園内には多種多様な樹木が集められており、四季折々に花が咲いております。とりわけ、梅は104種類、200本余りが植栽されており、全国的にも大変貴重な見本園であり開花時期には多数の見学者で賑わいます。

早春に美しい花を咲かせる梅の花を、皆様に堪能していただくため、愛知県植木センターの協力を得まして第8回いなざわ梅まつりを開催します。

イベント内容	日時
写真・俳句大会入選作品展	2月25日(火)~3月9日(日)
盆梅・お雛様・吊るし雛展	3月5日(水)~3月9日(日)
写真コンテスト	3月3日(月)~3月24日(月)
俳句大会	3月3日(月)~3月9日(日) 執務時間中
稲沢市特産品の販売	3月8日(土)・3月9日(日)
抹茶・飲食コーナー	3月8日(土)・3月9日(日)
植木・苗木の販売	3月8日(土)・3月9日(日)
郵便切手販売	3月8日(土)・3月9日(日)
樹木医による緑化相談	3月8日(土)・3月9日(日)
樹木ウォッチング	3月8日(土)・3月9日(日)
竹細工・子供向けコーナー	3月8日(土)・3月9日(日)
一宮高等技術専門学校総合造園科開放	3月8日(土)・3月9日(日)
県緑化樹木共進会受賞写真展	3月8日(土)・3月9日(日)
市制55周年スタンプラリー	3月8日(土)・3月9日(日)
健康相談コーナー	3月8日(土)・3月9日(日)
いなっピーふれあいステージ♪	3月8日(土)のみ
LOVE♥INA30ライブ	3月8日(土)のみ
いなっピーとあそぼう♪	3月9日(日)のみ
史跡尾張国分寺跡の見学ツアー	3月9日(日)のみ
名鉄ハイキング	3月9日(日)のみ



03 へいわさくらまつり

●平成26年4月5日(土)
information ●場所/平和町体育館

《イベント》ステージイベント、飲食コーナー、抽選会など
平和町には、総延長約2.8kmを桜並木でつないでいる桜ネットワークがあります。

ここには、八重桜を中心に約60種類の里桜およそ1400本が咲き誇り、3月から4月末まで楽しむことができます。



04 稲沢桜まつり

●平成26年4月5日(土)
information ●場所/国府宮神社参道一帯

《イベント》ステージイベント、茶会、写生大会、飲食コーナーなど
国府宮神社参道に咲く満開の桜の下で、茶会や演奏会、写生大会などの催しが開かれます。

夜には桜をライトアップし、美しい桜が浮かび上がります。



稲沢市観光協会会員を募集しています

会費：法人会員 一口5,000円以上 / 個人会員 一口1,000円以上

平成18年8月7日に稲沢市観光協会が設立して、はや9年目を迎えようとしています。会員の皆様方のご理解とご協力によりまして、事業も着実に進んでいるところで。

今後、さらに観光都市として、市内外からのお客様へのおもてなしのため、観光施設や特産品など観光資源の整備はもとより、歴史、文化、景観といった地域観光への体験の機会や、情報発信などの拡充が必要です。

そこで、稲沢市の観光振興を図るため、観光協会の組織基盤の強化と活性化のため、多くの会員の募集をいたします。お知り合いなどで未加入の方がお見えになりましたら、是非、会員への勧誘をお願いいたします。